



兵労発基 0409 第 11 号

平成 30 年 4 月 9 日

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会

兵庫県支部長 殿

兵庫県労働局長



荷重計以外の過負荷を防止するための装置を備えた  
移動式クレーンの使用について

日頃より労働安全衛生行政の推進にご協力いただき感謝申し上げます。

今般、クレーン又は移動式クレーンの過負荷防止装置構造規格等の一部を改正する告示（平成 30 年厚生労働省告示第 33 号）が、平成 30 年 2 月 26 日に告示され、同年 3 月 1 日から適用されたところ です。

今回の改正は、移動式クレーンに係る規格について、ISO（国際標準化機構）の規格との整合性を図るとともに、つり上げ荷重が 3 トン未満の移動式クレーン等について、荷重計以外の過負荷を防止するための装置を義務付けること等により移動式クレーンの安全確保等を一層推進しようとするものです。

つきましては、下記につきまして要請いたしますので、貴協会会員に周知方願います。

記

つり上げ荷重 3 トン未満の移動式クレーン等については、改正後の移動式クレーン構造規格第 27 条を満たす荷重計以外の過負荷を防止するための装置を備えるものに計画的に更新すること。このうち、積載形トラッククレーンについては、JCS2209-2018（一般社団法人日本クレーン協会規格「積載形トラッククレーン過負荷制限装置の基準」）を満たす定格荷重制限装置及び定格荷重指示装置を備え付けているものが望ましいこと。